

日本青年会議所 建設部会 2018年度 副部会長 所信

副部会長（北海道・東北地区担当） 千葉 隼人

日本の建設業界は東京オリンピックや耐用年数に近づくインフラ整備の急務、度重なる災害からの復旧工事など、今後建設投資の増加が見込める反面、収益率の低下からくる経営環境の悪化や情報化社会への対応の遅れ、若年労働者比率の低下などの問題が山積しております。未来の建設業界を担う我々はこの問題に真摯に向き合い、JC綱領を基盤とした会員相互の強固な連携で、建設産業の正しい発展に向け運動を展開する必要があります。

まずは、「災害大国」と称される日本の建設業を担う者として、ライフラインの確保や復旧・復興に向け、迅速かつ効率的に復旧作業に取り組める環境を整備するために、甚大な被害を受けた東日本大震災の被災地東北で、建設部会最大の運動発信の場である全国部会員大会を開催し、災害時の実際と建設業者としての災害に対する必要な備えや災害時に求められる担いを学びます。そして、建設業の発展から日本経済の発展を目指すために、震災後の経済動向の変動や被災地企業の経営実態を成功例や失敗例を交えながら学ぶことで、復興特需が過ぎ去った後の被災地域建設業者の持続的な成長を促す機会とします。さらに、ビジネスを通じた会員の交流を活発化させるために、全国部会員大会を会員相互の交流の場と捉え、多くの会員が集い親睦を深められるよう、魅力的な大会の構築に務め、積極的な大会PR活動を行い、会員相互のネットワークの拡充に努めます。また、会員数の少ない東北地区の会員拡大を図るために、ブロックの垣根を越えたオール東北で全国部会員大会の大会構築と運営を行うことで、建設部会活動の魅力を東北中に広く発信します。

建設業は様々な時代を乗り越え今があり、これからもなくなることはありません。私たちはその永い建設業の一時代を担う責任世代である青年として、建設部会活動を通し、より良い建設業を、より良い日本を、次世代にバトンを渡し真に豊かな社会を創って参ります。